

人財育成

変化が激しく、先行きも不確実で複雑な時代において、困難を乗り越え、力強く未来を切り開く人財を育成することが急務となっています。フジタの人財育成に対する考え方は「フジタが求める人財像」に基づいており、これらを実現するための「人財育成体系」は「場を与える OJT」をベースとしながら、off-JT で必要なビジネス能力の習得や、専門技術力のさらなるレベルアップを図るさまざまな研修を組み合わせ実施しています。また、従業員のキャリア形成のため計画的に複数のキャリア（職務・職場）を経験させるとともに、自律的キャリア形成を支援する「キャリア申告制度」を設け本人の将来目標を確認し、実現に向けたフォローを行っています。

人財開発イメージ



● 2025 年度人財育成に関する研修実績（全体）

延べ研修時間	214,027時間
一人あたりの研修時間	67.9時間
一人あたりの研修費用	109千円

人財開発・育成に向けて

当社では、従業員の実務能力の向上と判断力の強化を目的として、「圧倒的教育」と称する若手従業員に対する重点的な教育を、職種別に実施しています。本教育では、アクティブラーニング型の研修を充実させ、従来の座学中心の研修から、受講者主体の能動的な研修へと転換し、知識や実務能力の定着を図っています。

また、人事制度に基づき、等級昇格時には階層別研修を集合形式で実施し、自らの成長に向けたキャリアプランの確立や、実務リーダーとしての能力開発に力を入れています。さらに、マネージャー研修では、管理職として必要なマネジメント能力の強化を中心に行っています。

このほかにも多様な研修を実施し、従業員の能力開発と成長を後押ししています。



各種教育の実施

» リカレント・リスキリング

デジタル化や外部環境の急激な変化に応じて、個人に求められるスキルも多様化しています。当社は、希望する従業員がいつでも自由に学び直しができる「リスキリング・リカレントプログラム」を提供しています。また、これらのプログラムを各研修と組み合わせることで、自発的

な学習への意欲向上と自律的なキャリア構築といった一人ひとりの意識向上も期待しています。

- 主なプログラム
- 学びライブラリー
 - DX オンライン学習講座
 - 英語オンライン学習講座

» 環境教育

当社では、環境問題に関する基礎知識を得る手段として「環境社会検定試験（eco 検定）[®]」の受験を推進しています。2025 年度からは関係会社を含むフジタグループ全体へ対象を拡大し、環境リテラシーの向上に取り組んでいます。フジタ単体では 2025 年度の取得率目標 85% に対し 90.2% を達成しました。さらに、東京商工会議所主催「eco 検定合格者数ランキング 2025」で 4 年連続上位に選定され、表彰を受けました。

全従業員を対象とした一般教育では、2025 年度にサーキュラーエコノミーをテーマとした e-ラーニングを実施しました。専門教育では、社内の専門知識を有する従業員による総合教育講座に加え、建設大学で技術の伝承や最新情報の共有を行っています。階級別教育では、環境への取り組みの背景を重要テーマとし、環境法令遵守にとどまらず、環境目標の達成に向けて、脱炭素化、資源循環、生物多様性に関する施策を伝える対面教育を年間を通して実施しています。

※環境社会検定試験（eco 検定）[®] 東京商工会議所の登録商標です

- その他の各種教育
- P27 ▶ 従業員に対する健康教育
 - P30 ▶ 従業員教育・職長・安全衛生責任者教育・事業主教育
 - P42 ▶ ハラスメント防止・人権意識の向上
 - P43 ▶ 従業員研修